

平成 30 年度

施設評価調書

施設の名称……白浜公民館

所管担当課……教育委員会生涯学習課

平成 30 年 7 月

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市立白浜公民館	番号	31
----------	----------	-----------	----	----

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設置目的	社会教育法第 20 条の目的を達成するため 第 20 条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。					
運営事業名	H28 年値	H29 年目標値	H29 年実績値	対前年比	目標達成率	評価
① 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	93 人	100 人	78 人	83.87%	78.00%	C
② 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	4,048 人	4,000 人	3,625 人	89.55%	90.63%	B
設置目的に対する総合評価						B
目的達成度の 評価基準	① 参加者数×実施数（複数講座がある場合は全講座の合計） ② 利用者合計人数 評価：目標達成率 A100%以上、B100%未満 80%以上、C80%未満 60%以上、D60%未満 40%以上、E40%未満					

2 現状分析(Check)

運営事業の 意義と現状	① 市の厳しい財政状況の中、限られた予算で館長に公民館講座を企画していただき、平成 28 年度比で 15 名の減少であった。 ② 公民館の総利用者数については、平成 28 年度比で 423 名の減少であった。
上記の原因	① 公民館講座の参加者数については、固定化した講座で新規参入者の確保も難しく、また、1 講座減少したため減少している。 ② 市内の人口減少や高齢化も進行している中で、一定数の利用がある。また、夏期は地域柄ライフセービングの拠点として特別に使用されており、講座事業、貸出事業、光熱水費等、管理運営に影響を及ぼしている。減少については、行政の利用が減少したためである。

3 次年度以降への改善点(Action)

具体的な 改善方策	① 公民館講座については、統廃合が控えていることもあり、現在開設されている公民館講座の自主的活動への移行を推進したい。 ② 将来的には統廃合計画により、地元区への譲渡または廃止となる施設である。今後の施設の在り方を、行政・地元区等関係者を交え、また、社会教育委員、公民館運営審議会等の意見も聞きながら、地元の実情にあった施設として方向性を見出していかなければならない。		
H30 年度運営 事業と目標値	運営事業名	H30 年度目標値	備考
	① 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	80 人	前年度実績維持 78 人≒80 人
	② 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	3,600 人	前年度実績維持 3,625 人≒3,600 人

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価

運営事業名	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度	H 28 年度
総合評価	C	B	B	B	B
① 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	A	B	A	B	D
	189 人	168 人	161 人	152 人	93 人
② 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	C	A	B	B	A
	4,264 人	4,037 人	3,503 人	3,375 人	4,048 人

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市立白浜公民館	番号	31
----------	----------	-----------	----	----

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		H28 年度値	H29 年目標値	H29 年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等	4,048 人	4,000 人	3,625 人	89.55%	90.63%
	B 年間経費 (除く収入) 経費÷市職人件費	736,764 円	—	745,522 円	101.19%	—
	B/A	182 円/人	180 円/人	206 円/人	113.19%	87.38%
② 光熱水費		176,130 円	167,000 円	233,724 円	132.70%	71.45%
③ 消耗品費		16,512 円	16,000 円	21,586 円	130.73%	74.12%
効率性指標の考え方等		A 利用者数：公民館利用者人数 B 年間経費：市の経費総額と事務に係る人件費（職員人件費÷職員数）＊1/40 人工				

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	施設総利用者数は前年と（28 年度）比で 423 名減少しているなか、年間経費は 8,758 円増加しており、ほぼ変化がなかったため、利用単位当たりの経費が増加している。
----------------	---

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	引き続き、光熱水費、消耗品費等について、節電・節約に取り組み、利用者への声掛け等の協力依頼や掲示物等により節電・節約の周知徹底を引き続き図る。		
H30 年度効率性 の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B/A	200 円/人	前年度実績維持 206 円/人≒200 円/人
	②光熱水費	222,000 円	前年度実績の 5%削減 233,724 円*0.95≒222,000 円
	③消耗品費	21,000 円	前年度実績 21,586 円≒21,000 円

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H24 年度決算	H25 年度実績	H26 年度実績	H27 年度実績	H28 年度実績
①利用単位当 たり 経費	目標値（人）	5,800 人	4,260 人	4,000 人	3,500 人	3,400 人
	A 実績値	4,264 人	4,037 人	3,503 人	3,375 人	4,048 人
	B 実績値	592,424 円	755,143 円	830,778 円	676,867 円	736,764 円
	B/A	139 円/人	187 円/人	237 円/人	201 円/人	182 円/人
	対前年比	152.75%	114.72%	126.74%	84.81%	90.55%
	目標達成率 （人）	73.52%	74.87%	75.95%	96.42%	119.06%
②光熱水費	目標値	150,000 円	173,000 円	173,000 円	182,000 円	181,000 円
	実績値	181,634 円	182,564 円	192,218 円	190,811 円	176,130 円
	対前年比	115.33%	100.51%	105.29%	99.27%	92.31%
	目標達成率	121.09%	94.76%	90.00%	95.38%	102.77%
③消耗品費	目標値	15,000 円	22,000 円	22,000 円	42,000 円	20,000 円
	実績値	21,606 円	47,228 円	42,949 円	20,074 円	16,512 円
	対前年比	143.58%	218.59%	90.94%	46.74%	82.26%
	目標達成率	144.04%	46.58%	51.22%	209.23%	121.12%

平成 30 年度

施設名（愛称名）	下田市立白浜公民館
----------	-----------

番号	31
----	----

4 その他の指標

受益者負担 の適正性	区 分	説 明	単位	H27 年度	H28 年度	H29 年度
	①有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	円	676,867	736,764	745,522
	②受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	円	28,380	35,460	27,600
	③受益者負担比率	②÷①	%	4.19	4.81	3.70
	④補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	円	465,520	501,290	334,160
	⑤補正受益者負担比率	④÷①	%	68.78	68.03	44.82

運営に掛かる税負担 (市民負担)	年度		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(予算)
	人口（4 月 1 日：人）		23,444	22,938	22,477	21,973
	人口 1 人あたり（円/人）	運営経費（収入除く）	28	32	33	—
		年間総経費	53	55	57	—

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市立白浜公民館	番号	31
----------	----------	-----------	----	----

利用者満足度調査

※アンケート実施無し。但し、予約受付時、使用后、館長会議等にて、意見聴取している。

施設修繕計画及び備品購入計画

破損 年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考（修繕済年度等）
29	男子トイレ小便器	6,480	29	29.6.1
29	浄化槽散気用ブロワー修理	8,640	29	29.12.13
※今後想定される維持管理事項 ・建物の老朽化・劣化が著しく、修繕では対応が難しい状態になりつつあり、応急的な修繕については、地元区や職員で対応している場合もある。				

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市立白浜公民館	番号	31
----------	----------	-----------	----	----

管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性	社会教育法に基づく公民館としては、行政関与は妥当である。但し、市の総合計画における公民館統廃合事業として、市内 6 公民館の中央公民館 1 館への統廃合を進めており、白浜公民館は、地元区へ譲渡又は廃止という位置づけにある。地元区の実情にみあった生涯学習施設の拠点として、譲渡したい方針ではあるが、建物の老朽化・劣化が著しく、維持管理費が区の負担では厳しい状況である。
廃止、休止等の可能性	
施設の設置目的変更の可能性	
民間による管理運営の可能性	
今後の管理運営主体の見込み	
行政関与の妥当性	
施設の管理運営と経費の妥当性	建物の老朽化・劣化が著しく、修繕の必要性が高い施設であるが、応急的な修繕については、地元区、職員等で対応している場合もある。
施設の性質や実費経費からみた受益者負担の妥当性	施設の性質上、受益者負担の原則から維持管理費に見合う使用料を見込んだ受益者負担を使用者に求めることは難しい。しかし、施設の老朽化も進んでおり、必要経費が増加することが予想されるため、施設に見合った適正な受益者負担を検討する必要がある。
その他の管理運営上の課題	利用者に対する統廃合の進捗状況の説明や代替施設の案内等利用者に対する周知を行う必要がある。
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	県中東部内では、公民館廃止、代替施設として生涯学習センターの設置・整備等が顕著である。県西部地域は社会教育法による公民館を設置している自治体が多いが、県中東部内でみると当市は公民館設置が多いといえる。

平成 29 年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項
① 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	短歌の 1 講座で 10 回、78 人の参加があった。	地元根に根差した講座であり、より多くの地域住民の参加を図るため、募集を広報等で情報発信することを検討し、公民館活動の維持を図る。新規講座の開設も検討したい。
② 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	162 回、3,625 人の利用があった。	

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市立白浜公民館	番号	31
----------	----------	-----------	----	----

施設 の 概 要

1 施設名 (愛称名)	下田市立白浜公民館			2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係					
3 所在地	下田市 2741 番地の 5			4 設置年月	昭和 54 年 3 月					
5 総合計画の 位置付け	Ⅱ 人が輝くまちづくり		(1) 自ら学ぶ人づくり		生涯学習					
	基 本 目 標		いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。							
	基本目標を実現 するための施策		項目 ・ 公民館講座 ・ 公民館統廃合		内容 ・ 公民館講座の開設 ・ 地域の実情に見合った公民館 の再編を図ります。					
6 設置目的	社会教育法第 20 条の目的を達成するため 第 20 条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。									
7 設置根拠	下田市立公民館設置管理条例									
8 施設の概要	施設の概要		敷地面積 m ² 建物面積 延面積 239.9 m ² 1F 116.8 m ² 2F 123.1 m ² 構造 鉄骨 2 階建							
			1F 事務室・和室・調理室・便所 2F 大会議室・資料室							
	実 施 事 業 の 概 要		・ 公民館講座の実施 ・ その他「社会教育法第 22 条（公民館の事業）」に基づくもの							
	料 金 体 系		料 金 区 分	会議室等使用料 大会議室・和室・調理室						
				主 な 料 金	名 称	午前 (9:00～12:00)		昼間(13:00～17:00)		夜間(18:00～21:00)
			普 通			入場料	普 通	入場料	普 通	入場料
			多目的ホール兼大会議室		2,050 円	4,100 円	2,050 円	4,100 円	3,080 円	6,160 円
			中会議室		1,020 円	2,050 円	1,020 円	2,050 円	2,050 円	4,100 円
			小会議室		1,020 円	2,050 円	1,020 円	2,050 円	2,050 円	4,100 円
	和室	1,020 円	2,050 円	1,020 円	2,050 円	2,050 円	4,100 円			
調理室	2,050 円	—	2,050 円	—	3,080 円	—				
減 免 内 容		(使用料の免除) 第 10 条 市長は、特に必要があると認めるときは、別表に定める使用料を減免することができる。 (1) 市の主催で使用するとき、又は国の機関若しくは地方公共団体が市と共催で使用するとき。(全額) (2) 公共的団体の主催で法第 20 条の目的に基づき住民のために使用するとき、又は市内の保育所、幼稚園若しくは小・中学校の主催で、園児、児童、若しくは生徒の教育のために使用するとき。(全額) (3) 公立小・中学校(市内の公立小・中学校を除く。)若しくは公立高等学校の主催で、その目的が教育のために使用するとき、又は委員会が認めた社会教育関係団体の主催で、その目的が当該団体の設立目的のために使用するとき。(5 割減額) (4) 国の機関又は地方公共団体の主催で、その目的が公共のために使用するとき。(3 割減額) (5) 全各号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。(3 割減額)								
		利用料金制度	☐ 有 ☒ 無							
施 設 運 営 方 法		☒ 直接運営								
		☐ 指定管理者制度 →	指定管理者							

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市立白浜公民館	番号	31
----------	----------	-----------	----	----

		☐ 一部委託 →	委託内容			
	直接従事職員	下田市職員数 館長 1 名				
9 市 内 の 類似施設	下田市所有	他 5 公民館（社会教育法の規定による施設）				
	民間所有	地区集会所等（自治会管理の地域コミュニティ施設）				
10 取得費等 の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳		平成 29 年度末残高		(備考) 減価償却の方法 ・ 旧定額法 ・ 残存価格 1 円 ・ 新築設翌年度か ら償却 ・ 耐用年数 38 年 (S54.3～H29.3) ・ 建物経過年数 39 年	
	土地取得費		土地残高			
	建物取得費	23,095 千円	建物減価償却後残高	1,302 千円		
	財源内訳	23,095 千円	減価償却費＝取得価格×0.9×償却率 ＝561,209			
	国・県支出金					
	市債		市債残高	0 円		
	一般財源					
	寄附金等	10,000 千円				
	物品(* 万円以上)		物品減価償却後残高			
11 年間経費 等推移 (単位：円)	区 分		H27 年度決算	H28 年度決算	H29 年度決算	H30 年度予算 (6 公民館)
	収入		28,380	35,460	27,600	1,687,000
	収 入 合 計		28,380	35,460	27,600	1,687,000
	支出	1 節 報酬	113,333	112,000	112,600	1,004,000
		7 節 賃金	0	0	0	1,699,000
		8 節 報償費	45,000	17,500	25,000	259,000
		9 節 旅費	814	690	3,848	34,000
		11 節 需用費	225,620	230,514	233,724	4,851,000
		消耗品費	20,074	16,512	21,586	361,000
		印刷製本費	0	8,712	4,986	30,000
		光熱水費	190,811	176,130	190,910	3,996,000
		下水道費	0	0	0	149,000
		燃料費	3,935	0	1,122	15,000
		修繕料	10,800	29,160	15,120	300,000
		12 節 役務費	53,198	108,367	109,062	585,000
		13 節 委託料	53,072	1,680	0	928,000
		14 節 使用料	0	89,145	89,411	644,000
		15 節 工事請負費		0	0	0
		18 節 備品購入費	0	0	0	0
		19 節 負担金	12,149	12,082	7,866	47,000
		23 節 償還金利子 及び割引料	0	0	0	0
		支 出 合 計		505,686	571,978	581,511
	支出収入差引（支出・収入）			536,518	553,911	8,364,000
	減価償却費		561,209	561,209	561,209	9,439,300
	市債利子		0	0	0	0
	職員人件費		171,181	164,786	164,011	1,013,100
	下田市負担年間総経費		1,238,076	1,262,513	1,279,131	18,816,400
	備 考	○ 人件費は、1 公民館を 1/40 人工として、職員人件費平均から算出したもの ○ 事務に係る市職人件費＝（職員人件費÷職員数）×1/40 人工×公民館数				

平成 30 年度

施設名（愛称名）	下田市立白浜公民館
----------	-----------

番号	31
----	----

12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度		H27 年度決算	H28 年度決算	H29 年度決算	H30 年度予算 (6 公民館)
		利用者数	市 内	3,375 人	4,048 人	3,625 人	45,600 人（見込）
			市 外		人	人	人
			合 計	3,375 人	4,048 人	3,625 人	45,600 人（見込）
		参考：利用単位 当たり市負担額		366.84 円/人	311.89 円/人	352.86 円/人	412.64 円/人
		算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数					
	休館日	祝日、12/28 から 1/3 まで					
		使用時間	午前 9 時から午後 9 時まで				